

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成29年9月14日 (2017.9.14)

【公開番号】特開2015-40565(P2015-40565A)

【公開日】平成27年3月2日 (2015.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-014

【出願番号】特願2014-164008(P2014-164008)

【国際特許分類】

F 0 2 C 6/18 (2006.01)

F 2 2 B 1/18 (2006.01)

F 0 1 K 23/10 (2006.01)

F 0 1 K 7/44 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 6/18 A

F 2 2 B 1/18 E

F 0 1 K 23/10 T

F 0 1 K 23/10 V

F 0 1 K 7/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月4日 (2017.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複合サイクルシステム（10、100、200）用の熱回収蒸気発生器（40、130、210）であって、

第1の高圧過熱器（240）と第2の高圧過熱器（250）とを備える高圧部（46、140、220）と、

ダクトバーナ（66、180、270）と、

前記第1の高圧過熱器（240）および前記第2の高圧過熱器（250）に流体連通された蒸気導管と、

前記蒸気導管に配置された第1および第2の組の弁と、

を備え、

前記ダクトバーナ（66、180、270）を燃焼させないときに、前記蒸気導管内の蒸気の流れが前記第1の高圧過熱器（240）に、次いで前記第2の高圧過熱器（250）に向かうように、前記第1の組の弁が開放され、前記第2の組の弁が閉鎖され、

前記ダクトバーナ（66、180、270）を燃焼するときに、前記蒸気導管内の蒸気の流れが前記第2の高圧過熱器（250）に、次いで前記第1の高圧過熱器（240）に向かうように、前記第2の組の弁が開放され、前記第1の組の弁が閉鎖され、

前記第1の高圧過熱器（240）が、前記ダクトバーナ（66、180、270）の上流側に配置され、

前記第2の高圧過熱器（250）が、前記ダクトバーナ（66、180、270）の直ぐ下流側に配置され、

再熱器（50、260）が、前記第2の高圧過熱器（250）の直ぐ下流側に配置される、

熱回収蒸気発生器（40、130、210）。